
当たり前な世界

フーさん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

当たり前な世界

【Nコード】

N6086C

【作者名】

フーさん

【あらすじ】

子供たちの大人たちへの反乱、簡単なことをいえない大人たちに捧ぐ、近未来SF短編小説です。

（前書き）

言葉のボキャブラリーが少ないので、あまり難しい言葉は使っていません。使えないです。

『当たり前な世界』

作者 けい

時は2010年、特に何も変わらない世界。

いまだにテレビはアナログだし、電気街は秋葉原、大阪はたこ焼き、名古屋はいろいろ。

特に代わり映えのしない世界。

ひとつだけ変わった事があった。2009年 9月9日 PM
12:00

一人の子供が提示版『当たり前な世界』に書き込んだ。

「なぜ当たり前に起きる悪いことを阻止できないの？」

「悪いことをする大人がなぜ笑いながら暮らせるの？」

「皆のお金は、一部の人間を肥やすためにあるんじゃないよ」と

それをきっかけして十代の若者たちの反乱が起きた。ちっちゃな提示版によるちっちゃな反抗。

それは、暴力的なものは何もない、ただ当たり前のことを言う子供たちだ。

くだらない政治家、くだらない大人たちに向けて。

ある政治家が言った。

「これは必要なんだ!!」

子供達は言った。

「あなたが気持ちよくなるために？」

汚い大人が言った。

「このお金は皆が平和に暮らすためのものだ!!」

子供達は言った。

「今、現実にお金がなくて死んでる人がいるのに？」

そう、大人がわかっていてわかってないふりをしているものに対して、子供達はいつでも自由に発言した。

だが子供たちの自由は続かない。

大人たちがいつものように、臭いものには蓋をするように。

いや・・・まるで存在さえもなかったように。

だが子供達はひるまなかった。

「当たり前のことをなぜ言っではいけないの？」

「当たり前のこととも言えない大人たちは引っ込んでろ！」

その声はいつしか大きくなり、「チルドレン」というレジスタンスになった。

チルドレン達は大人たちにこう言った。

「なぜ本当のことを言わないの？」と

大人たちは言った。

「私達は法律を守っている。子供はだまっている!!」

チルドレンは言った。

「自分たちが得するような仕組みにして？悪い事とわかっていて、人を傷つけているとわかっていてなぜするの？」

大人たちは言った。

「うるさい!!子供は黙っている!!」

チルドレンたちは言った。

「こんなに日本を汚して自分たちだけは楽しんで、子供とかも」

関係ないでしょ？あなたたちがこの国を汚したの。」

提示版に書き込まれる内容は日に日に白熱して言った。

あるニユース番組で取り上げられた。

「最近子供たちによる、パソコンや携帯を使った暴言？が多発しております。」

変なおっさんが喋りだす。

「これも、最近の子供に多い病気みたいなものなんでしょう。」

そのあともおっさんは、自分の子供の時は違った。大人を立てていた、などど訳の分からないことを延々と語った。

その日の提示版

「やっぱりくだらない大人たちには俺らの気持ちは分からない、今こそ行動に移す時だ！！」

「そうだね。もう実行使しかないよ、よし、俺は下らない大人を一人殺してくる。」

「じゃあ俺も！！」

次の日の朝

ニユース番組できれいなお姉さんが、怖い顔をしながら

「昨夜未明全国で同じ時間帯に連続殺人事件が起きました。被害者は45〜65歳の男性、女性合わせて1192名世界でも類に見ない連続殺人です。被害者は全員政治家となんらかの関係があり、国家テロではないかと警察も検討中です。」

犯人は分かっておりますが、なんでも今話題の「提示版」当たり前の世界』』と言うチャット内で、犯行をほのめかす内容があったそうです。」

警察の動きは早かった。

『当たり前世界』の中で最初に、殺してこようと打った、十代の若者が捕まった。そこから芋ずる式に、犯行に及んだ仲間たちは捕まった。

『当たり前な世界』はネットから削除された。

しかし『当たり前な世界』はすぐ復活した。

『当たり前な世界2』と称して、大人たちはわかっているても手が出せないらしい。

なぜだろう？今から悪いことがおきると分かっているても、阻止できない。

それが法律らしい。くだらない。

『当たり前な世界2』では・・・

「皆を守るのが法律だろ？変なの。」

「また大人たちに制裁だ。またやるよ。次のターゲットはまた『政治家』次は何人殺そうかな。」

「じゅあ俺も」

次の日の朝

ニユース番組できれいなお姉さんが、怖い顔をしながら

「昨夜未明全国で同じ時間に連続殺人事件が起きました。被害者は全員政治家で犯人は分かっておりますが、なんでも今話題の『提示版』『当たり前な世界2』』と言うチャット内で、犯行をほのめかす内容があったそうです。」

警察の動きは早かった。

また殺した奴が捕まった。

そしてまた別の奴が殺す、負の連鎖が始まった。

一週間の間にごみ掃除は終わった。

『当たり前な世界』は今『当たり前な世界9』にまでなった。

チルドレンたちは期待した。これで大人たちが僕たちにしかるべき

処置をとるしかないからだ。

というか腐った政治家たちがいなくなり、次はきれいな欲のない日本になると信じてた。

月日は流れた。

2019年 テレビはデジタルに東京は六本木に、大阪は好み焼きになり、名古屋は名古屋コーチンになった。

何も変わらなかった。結局汚れた大人たちが嘘で塗り繕い、また同じことの繰り返し。

『当たり前な世界』は『当たり前な世界99』にまでなった。

そしてひとつの書き込みがあった。

「皆この国はもうだめだ、皆で目を覚まさそう。皆、明日のPM 12:00

に自殺しよう。この提示版を見てない子は、僕たちで殺してから・

・

「・・・わかった」

次の日の朝

ニュース番組できれいなお姉さんが、怖い顔をしながら

「昨夜未明全国で同じ時間に連続自殺事件が起きました。二十歳未満の子供たちは、全員なくなりました。繰り返します二十歳未満の子供たちは全員なくなりました。」

子供がいなくなった世界。

だが大人たちは新しい子供たちを作る。

自分たちの汚れた世界に。次は失敗しないと誓った大人たちの世界。

月日は流れる。いつの世もたとえ子供たちがいなくなっても。

何事もなかったように流れたある日。

2100年 9月9日 PM 12:00

一人の子供が提示版『当たり前世界』に書き込んだ。

「なぜ当たり前前に起きる悪いことを阻止できないの？」

「悪いことをする大人がなぜ笑いながら暮らせるの？」

「皆のお金は、一部の人間を肥やすためにあるんじゃないよ」と

それをきっかけして十代の若者たちの反乱が起きた。ちっちゃな提示版によるちっちゃな反抗。

それは、暴力的なものは何もない、ただ当たり前のことを言う子供たちだ。

くだらない政治家、くだらない大人たちに向けて。

大人たちは驚いた。子供たちに知られてはいけない歴史。『当たり前世界』がそこに現れたから。

繰り返す過ち。

「自分たちが得するような仕組みにして？悪い事とわかっていて、人を傷つけているとわつかけていてなぜするの？」

大人たちは言った。

「うるさい！！子供は黙っている！！」

子ども達は言った。

「こんなに日本を汚して自分たちだけは楽して、子供とかもう関係ないでしょ？あなたたちがこの国を汚したの。」

提示版に書き込まれる内容は日に日に白熱して言った。

あるニュース番組で取り上げられた。

「最近子供たちによる、パソコンや携帯を使った？暴言？が多発しております。」

変なおっさんが喋りだす。

「これも、最近の子供に多い病気みたいなものなんでしょう。」

そのあとおっさんは、自分の子供の時は違った。大人を立てていた、などど訳の分からないことを延々と語った。

その日の提示版

「やっぱりくだらない大人たちには俺らの気持ちは分からない、今こそ行動に移す時だ!!」

「そうだね。もう実力行使しかないよ、よし、俺は下らない大人を全員殺してくる。」

「じゃあ俺も!!」

あの時との違いは、もう最初から全員と書き込まれた文章だけでした。

たったそれだけの違い、そこから大人たちと子供の戦争が始まった。

子供たちは大人を殺した。一人残らず。殺し方は単純明快。拳銃の引き金を引くだけ。

2111年 9月9日 PM 12:00

「大人たちがいなくなった。これで俺たちは自由だ!!」

「でもご飯はどうするの?」

「電気だって消えるよ」

「物だって売ってない」

「どうしよう」

「関係ない!!電気だって、服だって、ご飯だって俺たちで作ればいい。皆得意なことで俺たちの国を支えるんだ!!」

一人の少年が立候補した。

「俺がほかの国と仲良くやるよ。」

「じゃあ俺はこの国を綺麗にする。」

「俺が電気を作る!!」

皆それぞれ得意なことをした。月日は流れる。何があるとも、たとえば大人たちが勝手に作った『日本』と言う国がなくなるとも、子供たちは作った。新しい国『皆の国』を。

しかし以前と変わりなく繰り返されること、大人たちになった子供

たちの暴力、権力を使いたいじめ、しかし一つだけ変わったことがあった。

それは誰もがわかりきってる悪いこと、汚職事件、賄賂、贈賄、国の金を使い腐らすこと。『皆の国』を汚すようなことを、絶対しないというルール。

悪いこともする、いいこともする、皆が「皆の国」を暮らしやすい国に、平和な国にするよう努力をするようになった。

悪い人はいなくならないが、悪いことを悪いことと言える世界になった。

悪いことが起きる前に阻止できる。

そう、誰もがわかっている、くだらないけど一番大事な、一番大事な。

『当たり前な世界』に

（後書き）

どうでしたか？

暴力で作った世界は暴力に支配される。

けれど、信念があれば、それは正義にもなる。
考え方次第でことので々々

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6086c/>

当たり前な世界

2011年1月13日14時48分発行